

授業科目 スポーツ実践Ⅱ

科目コード番号

【担当教員名】 高橋一栄、西原康行、大庭昌昭 他	対 象 学 年	2	対 象 学 科	全科共通
	開 講 時 期	後期	必修・選択	選択
	単 位 数	1	時 間 数	30

【概要】

医療・福祉分野の職に携わるために必要となる、自らスポーツをコーディネートすることができる能力を身につけるため、競技スポーツのルール・施設・用具の概念を超えた、『ニュースポーツ』を実践することにより、その実践の仕方（ルール、マナー、場の設定、ゲームの進め方）や楽しみ方を体得し、高齢者や障害のある人を対象としたスポーツを体得する3年次開講「スポーツ支援」の導入講座に位置づける。また、3年次開講「スポーツ支援」の導入講座として、カヌーを体験する。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
参考書	ニュースポーツ百科	清水良隆 紺野 晃編著	大修館	1997 ￥3,200
参考書	新しい軽スポーツのすすめ	仲野隆士 原田宗彦編著	杏林書院	1999 ￥2,300
その他配布資料	毎時、プリントを配布			

【評価方法】

出席状況、授業態度、レポートから総合的に判断する。

【履修上の留意点】

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

ニュースポーツを自ら楽しみ、競技スポーツとの違いを修得する。
 ニュースポーツのルール、マナー、場の設定、ゲームの進め方を修得する。
 ニュースポーツの実践を通じて、自ら2種目のニュースポーツをコーディネートし、人々に提供することができるようになる。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 近代スポーツとしての競技スポーツとニュースポーツの違いを理解する。
2. ニュースポーツを行なうために必要なストレッチや準備運動を理解する。
3. ニュースポーツを行なうために必要なストレッチや準備運動を修得する。
4. 近代スポーツとしての競技スポーツとニュースポーツの違いを身体感覚として修得する。
5. ニュースポーツのルール、マナーを、実践しながら修得する。
6. ニュースポーツの場の設定、ゲームの進め方を、実践しながら修得する。
7. 学んだニュースポーツを発展させ、高齢者や障害のある人に応じたニュースポーツを創ることができる。
8. カヌーを体験し、高齢者や障害のある人が楽しめる自然の中でのスポーツの必要性を理解する。
9. カヌーを体験し、3年次「スポーツ支援」カヌー実習の基礎的な技術を修得する。

※ スポーツ実践Ⅱのニュースポーツ種目は、「フライングディスク（屋内）」「ソフトバドミントン」「ドッジビー」「クロリティ」など

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	オリエンテーション 近代スポーツとニュースポーツの違い	1	高橋・西原 大庭 他	講義	学習カード
2	ニュースポーツ体験とそのためのトレーニング 準備運動、ストレッチング、全ニュースポーツ紹介	2.3	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
3	ニュースポーツ1 1つめのニュースポーツ体験	2.4	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
4	ニュースポーツ1 ルール、マナーの修得	3.5	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
5	ニュースポーツ1 場の設定、ゲームの進め方	3.6	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
6	ニュースポーツ2 2つ目のニュースポーツ体験	2.4	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
7	ニュースポーツ2 ルール、マナーの修得	3.5	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
8	ニュースポーツ2 場の設定、ゲームの進め方	3.6	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
9	ニュースポーツ総括 新しいニュースポーツを自分たちで創る1	3.7	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
10	ニュースポーツ総括 新しいニュースポーツを自分たちで創る2	3.7	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
11	ニュースポーツ総括 新しいニュースポーツを自分たちで創る3	3.7	高橋・西原 大庭 他	講義・実習	学習カード
12	カヌー体験学習	8.9	高橋・西原 大庭 他	実習	学習カード
13	(1日集中学習を3回分に充当する)				
14	(前期スポーツ実践Iと合同で実施)				

その他

カヌー体験学習は、スポーツ実践I（前期）と合同で行なうため、後期開講前に実施する。